



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月5日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 達夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 福田 弘 TEL (03)3667-7811  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,845	△8.6	400	2.2	431	3.6	304	34.8
22年3月期第1四半期	5,304	60.5	391	30.4	416	15.3	225	0.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	11 50	—
22年3月期第1四半期	8 32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	17,848	11,647	65.3	440 12
22年3月期	17,937	11,710	65.3	442 52

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 11,647百万円 22年3月期 11,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		0 00	—	10 00	10 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	△4.8	450	△47.9	550	△42.5	350	△36.1	13 23
通期	19,000	△0.0	1,100	△28.6	1,200	△26.9	750	△1.7	28 34

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	29,748,200株	22年3月期	29,748,200株
23年3月期1Q	3,284,624株	22年3月期	3,283,924株
23年3月期1Q	26,463,751株	22年3月期1Q	27,145,055株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、設備投資や企業業績の回復が一部にみられたものの、全体的にはデフレ傾向が続き、依然として消費が伸び悩むなど、本格的な回復には至らず、先行きの不透明感を抱えたまま推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、引き続き食品会社として相応しい工場創りに努力し、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高4,845百万円（前年同期比8.6%減）、営業利益400百万円（同2.2%増）、経常利益431百万円（同3.6%増）、四半期純利益304百万円（同34.8%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間におけるセグメント業績は、次のとおりであります。

#### ① 精糖事業

精糖事業の業績は、売上高3,102百万円、営業利益414百万円となりました。売上面では個人消費が低迷する中、販売数量は前年同期を下回りましたが、海外原糖市況の高騰等により前年同期に比べ製品価格が上昇いたしました。利益面では引き続き原料調達コストの抑制及び生産コストの削減に努めました。

#### ② 機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高1,584百万円、営業利益25百万円となりました。厳しい経済環境下、売上面では連結子会社であるユニテックフーズ㈱のOEM関連部門が好調に推移いたしました。利益面では各部門においてコスト削減に努めました。特に切花活力剤部門においてのコスト抑制等が利益改善に寄与いたしました。

#### ③ 不動産事業

不動産事業の業績は、売上高157百万円、営業利益134百万円となりました。賃貸事業は、賃貸物件の一部の建替工事を行ったものの、概ね順調に推移いたしました。また、開発事業は、前年同期にマンション開発分譲の売上が一部ありましたが、当第1四半期連結会計期間においては行っておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、17,848百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### ① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ1.1%増加し、7,537百万円となりました。これは主に売上債権及び棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1.6%減少し、10,311百万円となりました。これは主に投資有価証券の減少等によるものであります。

## ② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ0.4%増加し、3,614百万円となりました。これは主に仕入債務の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ1.5%減少し、2,586百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

## ③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、11,647百万円となりました。これは主に時価の下落によるその他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ635百万円減少し、2,118百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において営業活動の結果使用した資金は、402百万円(前年同期471百万円収入)となりました。これは主に棚卸資産が減少から増加に転じたこと、法人税等の支払額が増加したこと等によるものであります。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果得られた資金は、11百万円(前年同期237百万円使用)となりました。これは主に子会社株式の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、243百万円(前年同期比28.5%増)となりました。これは主に長期借入金による収入が減少したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は順調に推移しておりますが、当社グループを取り巻く環境は不透明な状況が続くと思われまます。よって、前回発表(平成22年5月14日)の第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

《簡便な会計処理》

#### ○棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

《会計処理基準に関する事項の変更》

#### 1. 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ441千円減少、税金等調整前四半期純利益は36,350千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は53,159千円であります。

#### 2. 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項の変更

連結子会社の資産及び負債の評価方法は、従来、部分時価評価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）を適用し、全面時価評価法に変更しております。

これによる影響額はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,799,325	2,435,258
受取手形及び売掛金	1,767,430	1,604,241
有価証券	352,037	352,059
商品及び製品	1,569,075	1,316,757
仕掛品	122,142	117,830
原材料及び貯蔵品	757,092	813,761
その他	1,174,821	819,531
貸倒引当金	△4,242	△3,575
流動資産合計	7,537,682	7,455,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	707,877	693,325
機械装置及び運搬具(純額)	165,690	171,859
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	73,401	53,129
有形固定資産合計	2,995,803	2,967,149
無形固定資産		
のれん	1,090,757	1,117,754
その他	63,626	66,244
無形固定資産合計	1,154,384	1,183,999
投資その他の資産		
投資有価証券	3,815,734	4,076,088
その他	2,427,989	2,355,189
貸倒引当金	△82,749	△100,635
投資その他の資産合計	6,160,974	6,330,643
固定資産合計	10,311,162	10,481,791
資産合計	17,848,844	17,937,657

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,066,469	806,822
短期借入金	1,566,114	1,495,114
未払法人税等	38,210	471,561
賞与引当金	56,285	112,108
役員賞与引当金	3,310	13,680
その他	884,181	701,960
流動負債合計	3,614,570	3,601,246
固定負債		
長期借入金	1,400,272	1,449,939
退職給付引当金	506,018	529,247
役員退職慰労引当金	113,653	139,672
資産除去債務	53,292	—
持分法適用に伴う負債	64,475	64,475
その他	449,281	442,153
固定負債合計	2,586,993	2,625,487
負債合計	6,201,563	6,226,733
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,508,559	2,508,559
利益剰余金	8,224,144	8,184,508
自己株式	△806,230	△806,025
株主資本合計	11,450,933	11,411,503
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	202,198	304,977
繰延ヘッジ損益	△5,850	△5,557
評価・換算差額等合計	196,347	299,419
純資産合計	11,647,281	11,710,923
負債純資産合計	17,848,844	17,937,657

## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	5,304,030	4,845,543
売上原価	4,134,080	3,657,052
売上総利益	1,169,950	1,188,490
販売費及び一般管理費	778,074	787,898
営業利益	391,875	400,592
営業外収益		
受取利息	13,396	13,412
受取配当金	20,280	23,314
持分法による投資利益	14,048	8,375
その他	5,045	6,904
営業外収益合計	52,770	52,006
営業外費用		
支払利息	13,152	9,881
匿名組合投資損失	11,406	10,076
その他	3,306	921
営業外費用合計	27,865	20,879
経常利益	416,780	431,719
特別利益		
固定資産売却益	484	—
投資有価証券売却益	—	1,530
その他	65	—
特別利益合計	549	1,530
特別損失		
減損損失	2,019	2,212
投資有価証券評価損	12,095	—
貸倒引当金繰入額	45,335	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	35,908
その他	238	1,660
特別損失合計	59,689	39,780
税金等調整前四半期純利益	357,641	393,469
法人税、住民税及び事業税	137,530	40,139
法人税等調整額	△12,393	49,051
法人税等合計	125,136	89,190
少数株主損益調整前四半期純利益	—	304,278
少数株主利益	6,710	—
四半期純利益	225,794	304,278

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	357,641	393,469
減価償却費	35,441	31,735
のれん償却額	24,280	26,997
減損損失	2,019	2,212
賞与引当金の増減額(△は減少)	△54,725	△55,823
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,550	△10,370
貸倒引当金の増減額(△は減少)	46,043	△17,218
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,334	△23,228
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,880	△26,019
受取利息及び受取配当金	△33,676	△36,726
支払利息	13,152	9,881
持分法による投資損益(△は益)	△14,048	△8,375
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,530
投資有価証券評価損益(△は益)	12,095	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	35,908
売上債権の増減額(△は増加)	△217,528	△163,189
たな卸資産の増減額(△は増加)	715,250	△199,960
その他の流動資産の増減額(△は増加)	358,742	△172,804
仕入債務の増減額(△は減少)	32,839	259,646
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△767,029	△30,441
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△98	132
その他	△70,402	△497
小計	428,991	13,797
利息及び配当金の受取額	54,702	49,644
利息の支払額	△5,079	△3,591
法人税等の支払額	△7,299	△462,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	471,314	△402,471
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△36,726	△55,063
有形固定資産の売却による収入	2,000	—
投資有価証券の取得による支出	△300	△299
投資有価証券の売却による収入	—	66,435
無形固定資産の取得による支出	△450	—
長期貸付金の回収による収入	408	206
子会社株式の取得による支出	△202,860	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,928	11,279
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	130,000	96,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△41,300	△74,667
自己株式の取得による支出	△231,997	△205
配当金の支払額	△246,234	△264,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,531	△243,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	△325	△1,221
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	43,528	△635,928
現金及び現金同等物の期首残高	2,313,612	2,754,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,357,141	2,118,363

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,032,847	1,430,610	840,572	5,304,030	—	5,304,030
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39	277	316	(316)	—
計	3,032,847	1,430,649	840,849	5,304,347	(316)	5,304,030
営業利益	295,834	11,933	141,341	449,109	(57,233)	391,875

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

- (1) 精糖…………… 精製糖、液糖及び糖蜜  
(2) 機能性素材…………… 食品添加物、切花活力剤、イヌリン等の機能性食品素材  
及びペクチン等の天然添加物素材  
(3) 不動産…………… 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(57,233千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

[セグメント情報]

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各拠点に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「精糖事業」、「機能性素材事業」及び「不動産事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントを構成する主要製品及びサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品及びサービス
精糖事業	精製糖、液糖、砂糖関連製品等
機能性素材事業	食品添加物、切花活力剤、機能性食品素材、天然添加物素材等
不動産事業	不動産賃貸等

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,102,811	1,584,883	157,848	4,845,543	—	4,845,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,560	581	277	4,420	△4,420	—
計	3,106,372	1,586,231	158,125	4,849,963	△4,420	4,845,543
セグメント利益	414,520	25,763	134,537	574,822	△174,229	400,592

(注) 1 セグメント利益の調整額174,229千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。